

事業所名

ワンライフ MINOKAMO

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

4月

1日

法人（事業所）理念		一度きりの人生を豊かにしよう										
支援方針		小集団の中でも、個別にかかわる時間を大切にした支援を心掛けています。また、ブラジルを主とした多国籍のお子様も利用しているため、お子様・保護者様も安心して話することができる場を提供しています。お子様・保護者様のニーズにも応えられるように資格のあるスタッフが支援方法を共有し、総合的に支援が行えるように努めています。										
営業時間		平日	10 13	時	00 40	分から	12 17	時	00 40	分まで	送迎実施の有無	○あり なし
		土日祝	9 14	時	00 30	分から	12 17	時	30 00	分まで		
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	手洗いうがい、身なりを整えるなど、生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援します。具体的には通所したら手を洗うなど、通所した時の流れを理解し通所時のリズムを獲得できるようにしています。また、通所時には体温を測り健康状態を確認し、意思表示が困難であっても小さなサインに気づけるように配慮していきます。										
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の保持や手足の運動、体力の向上等支援します。また、ボールや風船、スライムなどの遊びの中から、動きの予測、判断、協調運動、指先の感覚等を遊びを通して学べるようにしています。										
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用し、遊びの中から形や色、音、空間、時間等の概念形成を図り、認知や行動の手がかりとして活用できるように支援します。こだわりがある場合はお子様の様子を見つつ、特性に配慮して支援してまいります。										
	言語 コミュニケーション	発声の他に、目を合わせる、指差し、身振り、サイン、絵カード等多様なコミュニケーション手段を用いて、意思の伝達ができるようにお子様の特性に合った方法で支援し、コミュニケーションをとる楽しさを感じられるようにしていきます。										
	人間関係 社会性	お子様と職員の信頼関係を構築していき、その信頼関係を基盤として周囲の友達と安心した関係を形成できるように支援します。また、相談しやすい環境を提供いたします。一人遊びの状態から、職員が仲介して行う連動的な遊び、ルールのある協同的な遊びを段階を踏んで社会性をはぐくんでいきます。										
家族支援		・お子様の発達状況や特性の理解に向けた相談援助を行ったり、言語面で不安がある場合には可能な限りサポートしたりしています					移行支援			・進路や移行先の選択についてお子様やご家族への相談援助、移行に向けた支援を行っています		
地域支援・地域連携		・相談支援事業所と連絡を取り、お子様の発達支援に関する共有や気になっている点等、密に共有しています ・天気の良い日には中山道会館などお出かけし、挨拶をしたり、昔の遊びをしたりして地域とのかかわりをつくっています					職員の質の向上			・毎月事業所研修を通じて、知識や現場で使いやすい技術を学んでいます ・日々朝礼等のミーティングで支援の状況や目標を確認し、コミュニケーションをとるように努めています		
主な行事等		フェスタジュニア(ブラジルの農民祭)、夏祭り、七夕、ハロウィン、クッキング等、多国籍の利用者様もいるためその文化を感じられたり、日本の文化を感じられたり、五感を感じられるようなイベントを実施しています。また、イベント開催時には利用者様のきょうだいやご家族にもイベントに参加できるように機会の提供を行っております。										